



News Letter

ニュースレター

Vol.1



2021.8.18

上越市 産業観光交流部 観光交流推進課

観光プラン・コンテンツづくりに向け、本格始動！

市内で様々な活動をしている“ヒト”同志が知り合い、そのヒトから「気づき」を得る、市内の豊富な“資源”を知り、良いところに「気付く」ことで、新たな事業（プラン・コンテンツ）を生み出したり、既存事業をより充実させる場として、観光地域づくり実践未来塾の令和3年度の連続講座がスタートしました。



「いま」起こっていることの共有。「危機が変化を加速させる」



第1回目は、（公社）日本観光振興協会総合研究所顧問の丁野朗さんと株式会社Co-Labの伊藤史紀さんをお招きし、8月3日（火）に直江津学びの交流館で開催。残念ながら、伊藤さんは急遽、リモートでの出演となりましたが、宿泊、飲食、交通、農業、広告、団体、行政など様々な分野の32人から参加いただきました。



伊藤さんの講義・ワークショップでは、まず、新型コロナウイルス感染症が参加者の皆さんの事業にもたらした「危機」を共有しあうグループワークを実施。伊藤さんによると、「**危機**」とは「『危険』と『好機』という、変化をもたらす2つの側面を表した言葉」とのことで、各テーブルでは、参加者それぞれの「危険」と「好機」が共有されました。その後、伊藤さんから「**危機が変化を加速させる**」とのお話があり、「リモートワークや副業などの働き方の多様化」「MaaSの進展、自動運転の普及」など、コロナ禍により加速する環境の変化の例示がありました。



◎各テーブルであげられた「危険」と「好機」の一例

危 険 (リスク)	好 機 (チャンス)
<ul style="list-style-type: none"> ・外出しないことに慣れてきた。 ・夜に飲食店に行きづらい雰囲気がある。 ・紙ベースの広告・チラシが減っている。 ・デジタル化が進みすぎて、人と人が会って何かをする機会が少なくなっている。 ・出張利用者が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で楽しもうという雰囲気を作られている。 ・IT化が進み、オンラインサービスが増えている。 ・若者が地元に残る割合が増える。 ・客単価を上げやすい。 ・目新しいことをどんどん体感できるようになる。

裏面もあるので、読んでいただくと嬉しいです→

「なりゆき」の未来と「ありたい」の未来

現状認識が終わったところで、続いては未来について考えるグループワークを行いました。なかなかイメージしにくかったかもしれませんが、コロナ禍による「危機」に対して、今のまま（何の対応もしないまま）事業を進めると、10年後はどうなっているのか（「なりゆき」の未来）というお題でグループ内でお話をしていただきました。その後、共通のビジョン（「ありたい」の未来）を持つことで、協力・協働の関係を

構築することができるというお話がありました。

そして、上越市観光交流ビジョンでのありたい姿「来訪者が市民の日常に溶け込み、楽しむ観光地域」を、自分の仕事や日常に当てはめたとき、どのようなイメージが思い浮かぶかというお題でグループワークを行ったのち、「OODA（ウーダ）ループ」という「ビジョン」に近づくための思考法の紹介があり、講座とワークショップを終了しました。



↑OODAループイメージ(伊藤氏資料)



全国の観光地域づくりの事例紹介

講座の最後に、全国各地の観光地域づくりに携わっている丁野さんから、当市の参考になりそうな事例として、埼玉県越谷市、石川県小松市、神奈川県小田原市、広島県呉市の事例を紹介していただきました。

越谷市では、観光協会主催の人材育成塾参加事業者の全員が共通の目的をもって活動できる事業を目指し、参加事業者のそれぞれの「技」を集めた「技博」というイベントを開催したとのことでした。

また、呉市では、市主催の塾参加事業者が、それぞれどのような役割やコンテンツを提供できるのかを

「見える化」しながら新たなコンテンツづくりに取り組んでいるなど、いずれも当市の観光地域づくりに非常に参考となる内容のお話でした。

（もう少し詳しくお話を聞きたかったという方もいらっしゃいましたが、丁野さんをお願いしていた持ち時間が短く、すみませんでした。）

担当者のキモチ

コロナ禍ではありますが、ようやくリアルでの開催をすることができました。皆さんに感染症対策に関して繰り返しお話をしてしまいましたが、おかげさまで無事に1回目を終了することができました。また、進行管理がうまくいかず、ご迷惑をおかけしました。

さて、初回の実践未来塾ですが、具体的なテーマで学ぶというより、気持的な部分をメインとしましたので、スッキリとした方もモヤモヤしたままの方

もいらっしゃるかもしれませんが、何かしらの「気付き」や「新たな出会い」などを持ち帰っていただけていると嬉しいなあと思っています。

また、アンケートに「他テーブルの人とも話したかった」という声をとても多くいただきました。そのとおりですよ。。。本当は席替えもしたかったし、第2部（夜の部？）で交流会的なものも開きたかったんです。

ぜんぶコロナのせいだ！と恨んでいて

も進めませんので、現状で出来る限りのことをやっていければと思っています。

最後になりますが、この場を皆さんの事業活動に活かしてもらえるような場としていきたいと思っていますので、実践未来塾のコンセプトに少しでも共感していただける点があれば嬉しいです。今後とも興味のあるテーマなどのご参加をお待ちしております。

今後とも、よろしく願います！